目次

序論　研究史と本書の課題　1

第一編　室町前期の社寺と造営・勧進

第一章　中世高野山の勧進活動

はじめに　15

一　大塔上人良印の勧進活動　16

二　良印・覚敷の出自　22

三　高野山大勧進職　證道上人実融　26

四　公方遁世者　古山珠阿弥陀仏　32

五　衆徒による勧進体制の成立　36

おわりに　42

第二章　中世高野山における神仏関係――天野社・御社の造営を通じて
はじめに　53
一　天野社の造営と高野山　55
二　御社の造営と天野社　64
おわりに　70
第三章　中世後期東寺大勧進の再検討――一五世紀前半を中心に
はじめに　77
一　寺家造営方による造営体制　78
二　湯山明源房　82
三　北野覚蔵坊増範　85
四　正覚院宝栄　88
五　造営方と大勧進　92
おわりに　94
第四章　北野社の勧進と造営
はじめに　101
一　北野社頭の芸能――室町前期　102

二　大勧進職から造営奉行へ　105
三　社頭造営と造営奉行　110
四　勧進禁制　114
おわりに　118
第五章　室町幕府の神祇政策――将軍家御師職を中心に
はじめに　123
一　将軍家御師職の置かれた諸社――その全体像　125
二　将軍家御師職の実態　128
三　将軍家御師職成立の意義　141
おわりに　144
第二編　室町後期の勧進と十穀聖
第一章　熊野三山本願所の成立――中世後期の「勧進」像解明にむけて
はじめに　157
一　熊野三山造営の変遷　159
二　新宮本願所の成立　161

三　那智本願所の成立　172
四　本宮本願所の成立　181
おわりに　186
第二章　本願所と社役・社法——熊野本願と社家の関係を通じて
はじめに　197
一　勧進・造営と本願の機能・得分　203
二　社中の諸行事と本願　207
三　祈祷との関わり　213
四　社家の反発と社法からの排除　223
おわりに　231
第三章　東寺大勧進の変質と終焉——十穀聖と大勧進職
はじめに　241
一　十穀聖海乗の大勧進就任　243
二　海乗の勧進活動　250
三　海乗と寺家　259
四　東寺本願所の成立と大勧進の終焉　263
おわりに　276

第四章　高野山と十穀・木食聖――中世後期高野山の勧進活動
はじめに　289
一　客僧と十穀　292
二　十穀聖の勧進活動――その一・壇上伽藍　297
三　十穀聖の勧進活動――その二・奥院　307
おわりに　315
第五章　木食応其と「本願所」「穀屋」
はじめに　325
一　本願所の再編　329
二　行人との関わり　332
三　応其と奉行　335
四　応其の失脚と行人の台頭　339
五　行人と穀屋　343
おわりに　348
第六章　中世後期の勧進と十穀聖
はじめに　359

一　十穀・木食聖の存在形態　362
二　公権力との関わり　369
三　十穀聖と本願所・穀屋の形成　377
おわりに　386
あとがき　398
初出一覧　400
索引